
2020年3月期第2四半期決算説明会資料

2019/10/29

株式会社 日立ハイテクノロジーズ

執行役社長 宮崎 正啓

執行役常務 桜井 真司

2020年3月期第2四半期決算説明会資料

1. 2020年3月期第2四半期(累計)業績ハイライト
2. 2020年3月期業績予想
3. 中期経営戦略進捗状況
4. 補足資料

- 2020年3月期第2四半期(累計)業績
 - 売上収益：3,464億円(前年同期比△5%)
 - EBIT：308億円(前年同期比△32億円)

- セグメント別業績(前年同期比)
 - アナリティカル・ソリューション：減収減益
 - ナノテクノロジー・ソリューション：増収増益
 - インダストリアル・ソリューション：減収減益

- 減収減益だが、一株当たり55円(前年同期比+10円)の中間配当を実施



1. 2020年3月期第2四半期(累計)業績ハイライト

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。

2020年3月期第2四半期業績(累計)(ハイライト)

(億円)

	20/3 2Q実績	19/3 2Q実績	前年同期比	前回予想比
売上収益	3,464	3,631	△167(△5%)	+64(+2%)
調整後営業利益*1	309	358	△49(△14%)	+49(+19%)
EBIT*2	308	340	△32(△9%)	+48(+18%)
税引前利益	310	342	△32(△9%)	+50(+19%)
四半期利益*3	226	246	△19(△8%)	+36(+19%)
一株利益	164.44円	178.54円	△14.10円	+26.28円
一株配当	55.00円	45.00円	+10.00円	±0.00円

・実績レート：1USD = 109円、1EUR = 121円

*1 調整後営業利益：売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標

*2 EBIT(Earnings Before Interest and Taxes)：税引前利益から受取利息及び支払利息を除外した数値

*3 四半期利益：親会社株主に帰属する四半期利益

2020年3月期第2四半期業績(累計)(セグメント別)

(億円)

	20/3 2Q実績		19/3 2Q実績		前年同期比		前回予想比	
	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT
アナリティカル・ ソリューション	793	117	814	138	△3%	△21	△2%	+2
ナノテクノロジー・ ソリューション	1,007	208	972	203	+4%	+6	+2%	+38
インダストリアル・ ソリューション	1,689	0	1,885	25	△10%	△24	△0%	△10
全社合計	3,464	308	3,631	340	△5%	△32	+2%	+48

* 2019年3月期はリステート後の数値となります。

* 全社合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれています。

2020年3月期第2四半期業績(累計)(偏差説明)

(億円)

() 内は前年同期比	20/3 2Q 実績		偏差要因
	売上 収益	EBIT	
アナリティカル・ ソリューション	793 (△3%)	117 (△21)	医用分析装置における為替影響および売価変動の影響により減収減益
ナノテクノロジー・ ソリューション	1,007 (+4%)	208 (+6)	メモリー顧客における一部投資計画延伸の影響を受けたが、ロジック・ファウンドリ顧客における増産投資や次世代先端プロセス投資向けに販売が好調に推移したことにより増収増益
インダストリアル・ ソリューション	1,689 (△10%)	0 (△24)	液晶露光装置の大口案件減少、自動車部品関連取引の一部終息、工業関連部材等の需要減少や価格下落の影響、一部大口案件の追加費用発生により減収減益
全社合計	3,464 (△5%)	308 (△32)	

* 前年同期比はリステート後の数値との比較となります。

* 全社合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれています。

2020年3月期第2四半期業績(累計)(財政状態計算書〔要約〕)

(億円)

2019年9月末

		19/3末比
流動資産	5,287	△26
現金および現金同等物	2,110	+196
営業債権	1,438	△221
棚卸資産	1,453	+75
その他	286	△77
非流動資産	1,453	+103
有形固定資産	858	+73
無形資産	199	+16
その他	397	+13
資産合計	6,740	+76

		19/3末比
流動負債	2,032	△97
営業債務	1,202	△165
その他	830	+68
非流動負債	347	+70
退職給付に係る負債	250	+10
その他	97	+60
資本	4,361	+103
親会社株主持分	4,353	+103
非支配持分	7	+0
負債および資本合計	6,740	+76

・一株当たり親会社株主持分 3,165.38円 (19/3末比 +74.79円)

・親会社株主持分比率：64.6%

(億円)

	20/3 2Q累計	19/3 2Q累計	前年同期比
営業活動に関する キャッシュ・フロー	373	248	+124
投資活動に関する キャッシュ・フロー	△67	△26	△41
フリー・キャッシュ・フロー	306	223	+83
財務活動に関する キャッシュ・フロー	△92	△63	△29

- 営業活動に関するキャッシュ・フロー：運転資金の改善等により124億円の収入増
- 投資活動に関するキャッシュ・フロー：無形資産の取得等により41億円の支出増



2. 2020年3月期業績予想

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。

2020年3月期業績予想(ハイライト：業績)

(億円)

	20/3予想 (10月公表)	19/3実績	前期比	前回予想比
売上収益	7,000	7,311	△311(△4%)	△100(△1%)
調整後営業利益*1	560	667	△107(△16%)	±0(±0%)
EBIT*2	600	642	△42(△7%)	+40(+7%)
税引前利益	600	648	△48(△7%)	+40(+7%)
当期利益*3	440	484	△44(△9%)	+30(+7%)
一株利益	319.94円	352.06円	△32.12円	+21.81円

・想定レート：1USD=105円、1EUR=120円

*1 調整後営業利益：売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標

*2 EBIT(Earnings Before Interest and Taxes)：税引前利益から受取利息及び支払利息を除外した数値

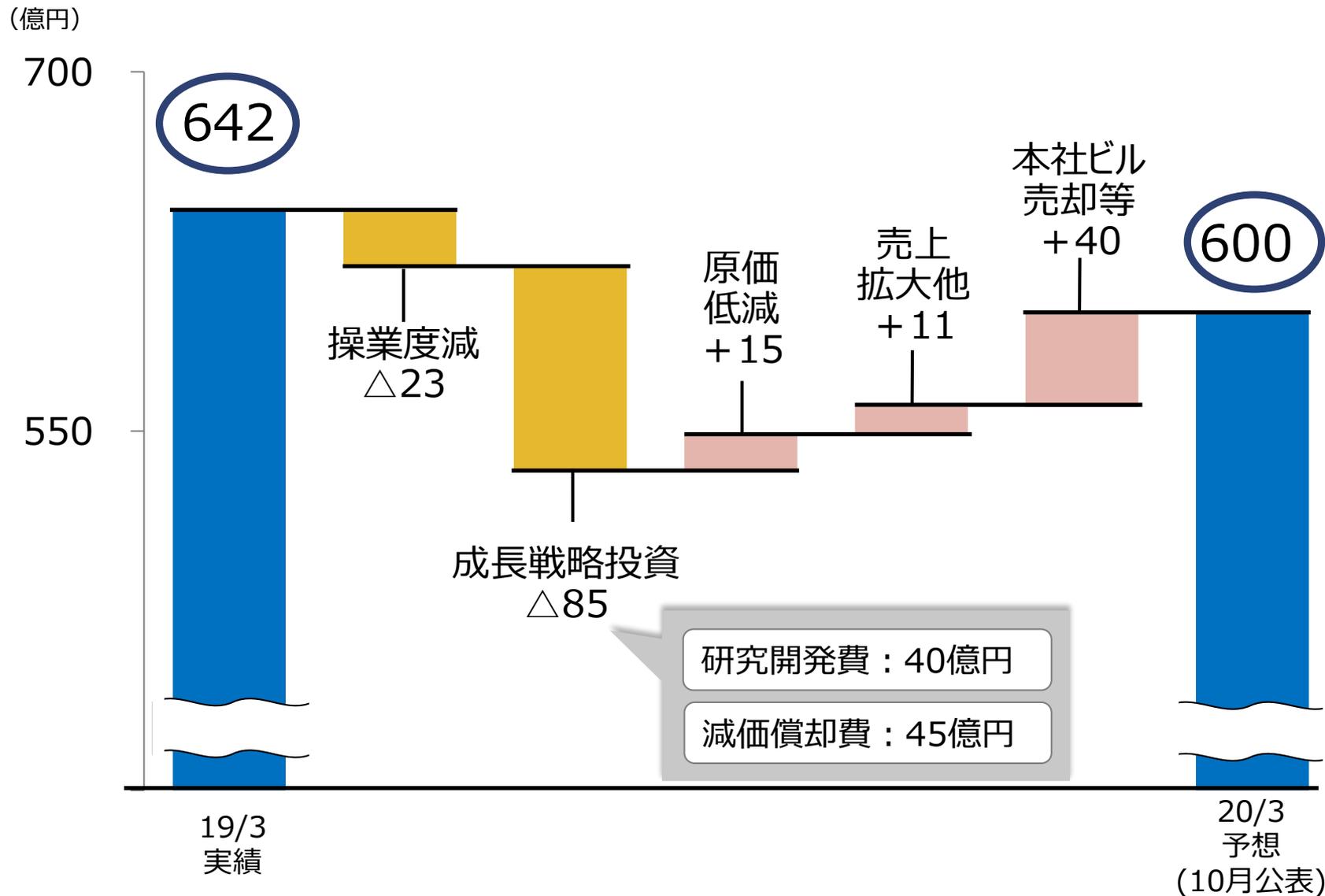
*3 当期利益：親会社株主に帰属する当期利益

2020年3月期業績予想(ハイライト：経営指標)

	20/3予想 (10月公表)	19/3実績	前期比	前回予想比
ROE	10.1%	11.9%	△1.8%	+0.7%
ROA*	6.3%	7.3%	△1.1%	+0.6%
FCF	200億円	121億円	+79億円	+130億円
一株配当	115.00円	105.00円	+10.00円	±0.00円

* ROA (総資産当期利益率)：非支配持分控除前当期利益 ÷ 総資産 (期末) × 100

2020年3月期業績予想(前期比増減要因：EBIT)



■ アナリティカル・ソリューション

バイオ・メディカルシステム	競争環境は厳しくなるものの、生化学・免疫装置の需要は堅調
分析システム	食品・環境・新エネルギー分野向けの需要は引き続き堅調だが、海外を中心に市場成長率の鈍化による影響を懸念

■ ナノテクノロジー・ソリューション

プロセスシステム	ロジック・ファウンドリ顧客の先端プロセス投資は引き続き好調に推移	
評価解析システム	評価	メモリー投資再開の動きに期待
	解析	電子材料の開発、創薬向けの需要は堅調だが、アジア市場での需要減少を懸念

■ インダストリアル・ソリューション

自動化、生産性向上に向けたニーズは堅調だが、投資実行判断時期の不透明感、素材、自動車関連部材における需要減少や価格変動等の影響を懸念

2020年3月期業績予想(セグメント別)

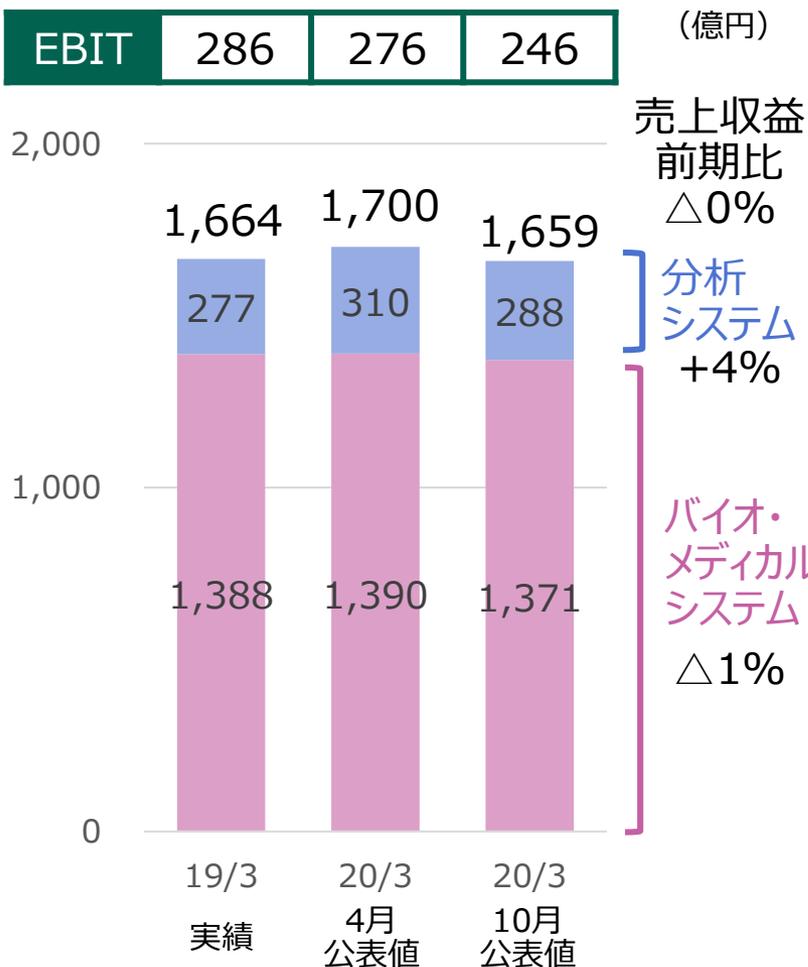
(億円)

	20/3 予想 (10月公表)		19/3 実績		前期比		前回予想比	
	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT
アナリティカル・ ソリューション	1,659	246	1,664	286	△0%	△40	△2%	△30
ナノテクノロジー・ ソリューション	2,129	355	1,871	347	+14%	+8	+4%	+55
インダストリアル・ ソリューション	3,329	23	3,865	64	△14%	△41	△7%	△31
全社合計	7,000	600	7,311	642	△4%	△42	△1%	+40

* 2019年3月期はリステート後の数値となります。

* 全社合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれています。

売上収益・EBITの推移



* 2019年3月期はリステート後の数値となります。

偏差説明(前期比)

売上収益：△0%、EBIT：△40億円

(+) 分析システムの販売増加

(-) 為替影響、売価変動、研究開発費増加等

今後の取り組み

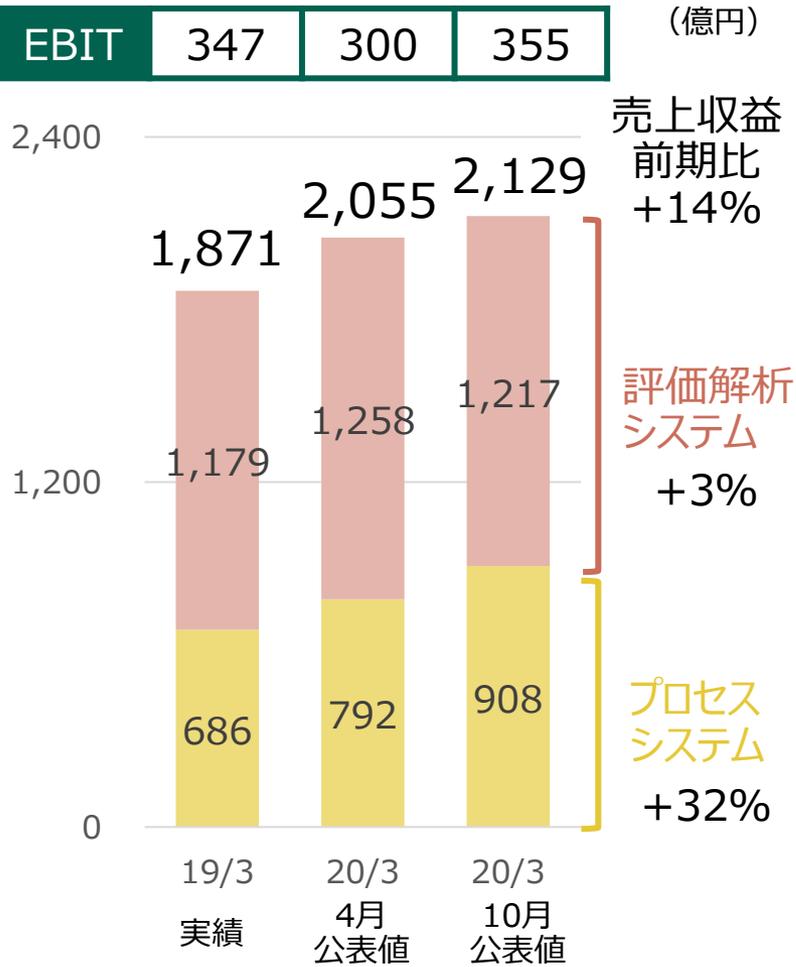
■ バイオ・メディカルシステム

- ・cobas e801、cobas pro(中型)の拡販
- ・バイオ分野向け製品の販売
(キャピラリー電気泳動型DNAシーケンサなど)
- ・ソリューション事業の推進(試薬・サービス)

■ 分析システム

- ・戦略分野向け分析装置の販売
(車載電池用異物検査装置、改正RoHS指令対応フタル酸エステル類スクリーニング検査装置)
- ・成長市場向け新製品の投入(熱分析・光度計)

売上収益・EBITの推移



* 2019年3月期はリスタート後の数値となります。

偏差説明(前期比)

売上収益：+14%、EBIT：+8億円
(+) ロジック・ファウンドリ顧客の先端プロセス量産
投資向けに販売増加

今後の取り組み

- 半導体分野
 - ・エッチング/計測/解析連携ソリューションの提供
- プロセスシステム
 - ・生産設備増強と人員確保による生産能力強化
 - ・国内外の開発エンジニアリングサイトの体制強化による技術開発推進
- 評価解析システム
 - ・IoT/AI/自動化を進めた新棟で革新的な生産環境を構築
 - ・多様化ニーズ対応の製品ポートフォリオ強化

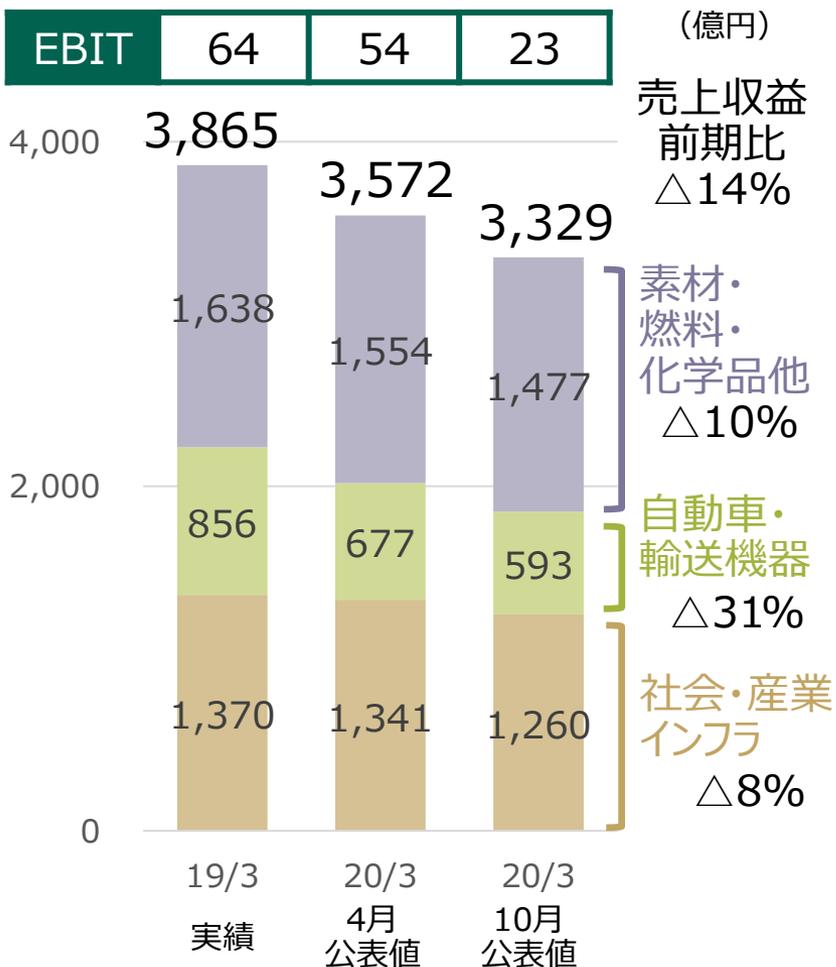


ひたちなか市新工場 (完成イメージ)
(2021年2月竣工予定)



高加速測長装置
CV6300

売上収益・EBITの推移



* 2019年3月期はリステート後の数値となります。

偏差説明(前期比)

売上収益：△14%、EBIT：△41億円
 (－)液晶露光装置の大口案件減少、
 自動車関連市場低迷、低収益ビジネスからの
 撤退および一部大口案件の追加費用発生

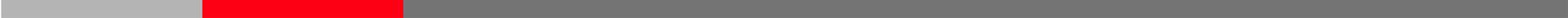
今後の取り組み

■ フロントエンジニアリング力の強化



生産現場のデジタル化ツールや施設の予兆診断/
 製造効率化のためのAI分析ツールの戦力化

■ 低収益ビジネスからの撤退と成長戦略投資の加速



3. 中期経営戦略進捗状況

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。

経営方針

グローバル成長市場におけるFocused Solutions Company

基本戦略

お客様の課題にフォーカスし、
『見る・測る・分析する』を基盤とした
技術・製品・サービスを通じてソリューションを提供

コア・コンピタンス

強い技術・プロダクト

見る・測る・分析する

自動化・制御技術

モノづくり力



顧客・仕入先基盤

グローバル営業力

ビジネス探索力

Focused Solutionsの提供

汎用市場を希少性のある専用市場に変え、
そこに「無くてはならない存在」になる

グローバルに拡大

新たな
専用市場
の創造



Bio/
Medical

Device
Tech

専用機・
ソリューションを提供

New Fields

汎用市場

個別化・高度化する
お客様の課題・ニーズ

アナリティカル・ ソリューション

「分析技術」をベースにBio/Medical分野、
安全・安心分野などでFocused Solutionsを創出

ナノテクノロジー・ ソリューション

「見る・測る・分析する」に「加工する」を
加えたソリューションにより、
お客様の最先端の研究開発・量産に貢献

インダストリアル・ ソリューション

OT*による顧客課題解決を起点にした
高付加価値事業の創出

* OT : Operational Technology

中期経営戦略進捗状況(まとめ)

KPI	22/3 目標	20/3 予想 (4月公表)	20/3 予想 (10月公表)
EBITマージン率	10%以上	7.9%	8.7%
ROE	10%以上	9.4%	10.1%
ROA*	7%以上	5.7%	6.3%
投資戦略	20/3~22/3 計画(累計)	20/3 予想 (4月公表)	20/3 予想 (10月公表)
研究開発	1,000億円	348億円	348億円
設備投資	800億円	365億円	441億円
事業投資	1,000億円	—	—
株主還元方針	20/3~22/3 目標	20/3 予想 (4月公表)	20/3 予想 (10月公表)
配当性向	40%	39%	36%

研究開発

- ・計測・分析技術基盤強化
- ・Bio/Medical分野の新事業開発

設備投資

- ・デジタル技術を駆使したスマートファクトリー構築
- ・Digital Transformationによる経営基盤強化

事業投資

- ・バイオ・分析関連事業強化
- ・がん診断など先端技術獲得

株主還元

- ・年間配当100円/株を下限とした安定的な配当

* ROA (総資産当期利益率): 非支配持分控除前当期利益 ÷ 総資産 (期末) × 100

2018年度

マテリアリティの特定

2019年度

各マテリアリティのKPI達成に向けた具体的な活動を推進

マテリアリティ 1

持続可能な
地球環境への
貢献



マテリアリティ 2

健康で安全、
安心な暮らし
への貢献



マテリアリティ 3

科学と産業の
持続的発展
への貢献



マテリアリティ 4

健全な
経営基盤の
確立



マテリアリティ 5

多様な
人財の育成
と活用



※各マテリアリティのKPI、具体的な活動計画はWebページおよび統合報告書2019をご参照ください。

再生可能エネルギーによる拠点運営



日立ハイテク九州



ひたちなか市新工場（完成イメージ）
（2021年2月竣工予定）

第45回技能五輪国際大会にて銀メダル獲得



「CNCフライス盤」職種で銀メダルを
獲得した菊池優斗選手



「機械製図CAD」職種で敢闘賞を
獲得した沼畑辰也選手

企業の価値を決める指標

経済価値



社会価値

業績（売上収益や利益）

社会課題への対応



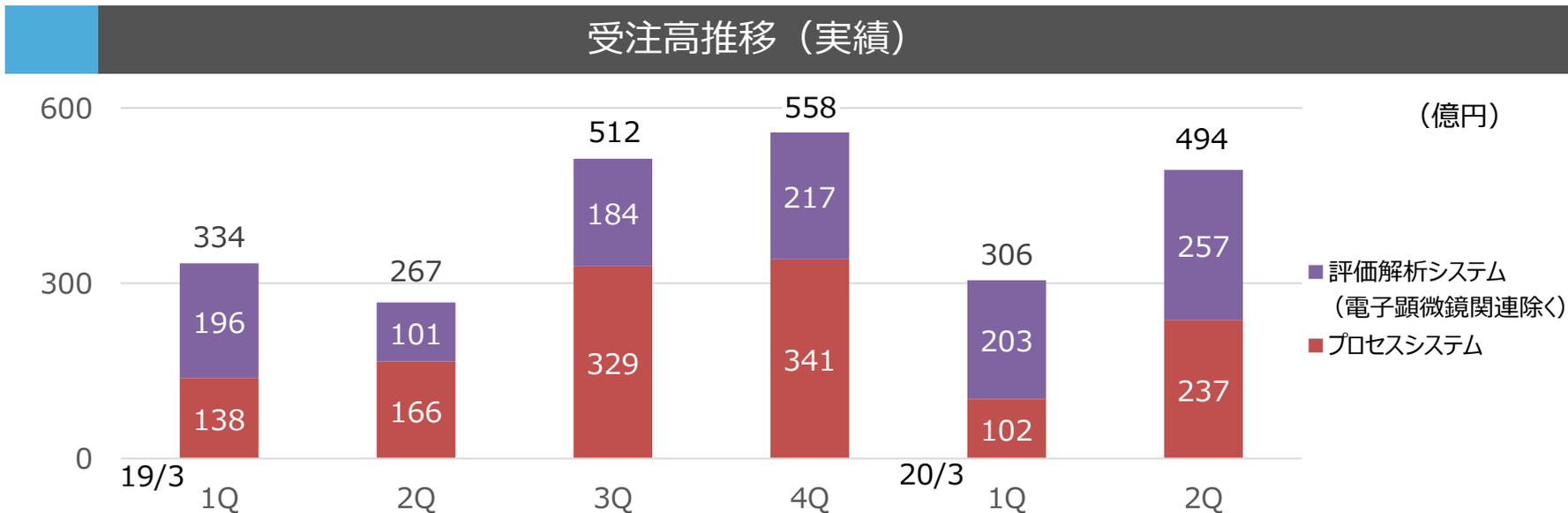
持続的に成長するために『社会対応力』を強化

世界中のお客様から選ばれ続ける企業、
社会から必要とされる企業へ

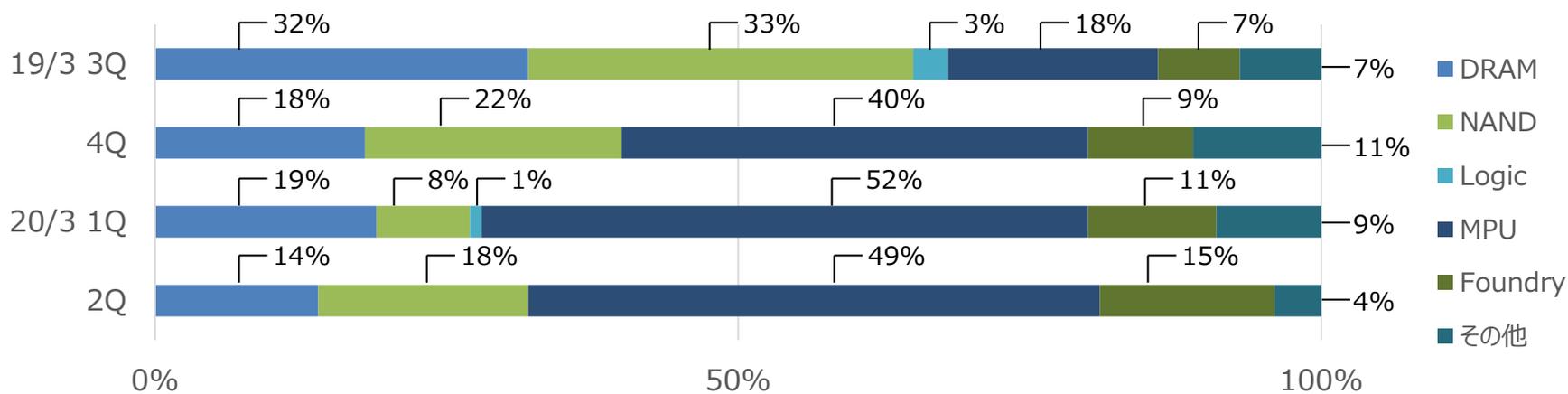
4. 補足資料

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。

受注高推移（実績）



前工程装置 分野別売上収益比率（実績） * 装置本体売上ベース、電子顕微鏡関連除く



設備投資額・減価償却費・研究開発費

* 設備投資額は取得ベースにて記載

(億円)

	19/3 1H	20/3 1H		19/3 実績	20/3	
		実績	前年同期比		予想(10月公表)	前期比
設備投資額	101	129	+28%	245	441	+80%
減価償却費	63	78	+23%	132	176	+34%
研究開発費	148	153	+3%	308	348	+13%

地域別売上収益

(億円)

		日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					中国大陸			
19/3 1H 実績	売上収益	1,335	279	468	1,383	463	166	3,631
	構成比率	37%	8%	13%	38%	13%	4%	100%
20/3 1H 実績	売上収益	1,279	564	461	1,070	502	90	3,464
	構成比率	37%	16%	13%	31%	14%	3%	100%

四半期業績の推移

(億円)

			19/3				20/3		
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
売上収益 ／ EBIT	アナリティカル・ソリューション	売上収益	409	405	397	454	398	396	
		EBIT	80	58	74	74	64	53	
	ナノテクノロジー・ソリューション	売上収益	421	551	417	482	455	552	
		EBIT	80	123	75	69	92	116	
	インダストリアル・ソリューション	売上収益	919	966	982	998	774	915	
		EBIT	12	13	18	21	△5	6	
	その他・調整額	売上収益	△19	△20	△22	△28	△11	△15	
		EBIT	△12	△14	△11	△18	△6	△11	
	合計		売上収益	1,730	1,901	1,774	1,906	1,616	1,848
			EBIT	160	180	156	146	144	163
税引前利益			161	181	158	148	145	165	
親会社株主に帰属する当期利益			106	140	118	120	98	128	

* 2019年3月期はリスタート後の数値となります。

主要製品群別売上収益の状況

(億円)

	19/3				20/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
アナリティカル・ソリューション	409	405	397	454	398	396
バイオ・メディカルシステム	349	333	331	373	341	321
分析システム	60	71	65	81	56	74
ナノテクノロジー・ソリューション	421	551	417	482	455	552
プロセスシステム	175	172	142	197	204	252
評価解析システム	245	377	274	284	250	299
その他	1	1	1	1	1	1
インダストリアル・ソリューション	919	966	982	998	774	915
社会・産業インフラ	303	363	331	374	254	398
自動車・輸送機器	205	201	224	227	145	148
素材・燃料・化学品他	411	402	428	398	375	368

* 2019年3月期はリステート後の数値となります。

2020年3月期第2四半期決算説明会資料

お問合せ先

CSR本部 CSR・コーポレートコミュニケーション部 部長 桑原 満

TEL : 03-3504-5138 FAX : 03-3504-5943

E-mail : mitsuru.kuwabara.ya@hitachi-hightech.com

<資料取り扱い上の注意>

- ・本プレゼンテーションで述べられている決算概要および業績予想は、注記がある場合を除き、すべて連結であり、億円未満を四捨五入しています。
- ・当社が開示する将来の業績見通しや戦略等に関する予想は、開示時点で知りうる情報や合理的と思われる前提をもとに策定しており、さまざまな外部要因による直接的・間接的な影響により、実際の当社の業績等が開示内容と異なる可能性があります。但し、開示内容との間に大きな乖離がある場合は、法令や証券取引所が定める適時開示規則並びに当社の自主的な判断に基づき、その都度開示していきます。

また、この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。